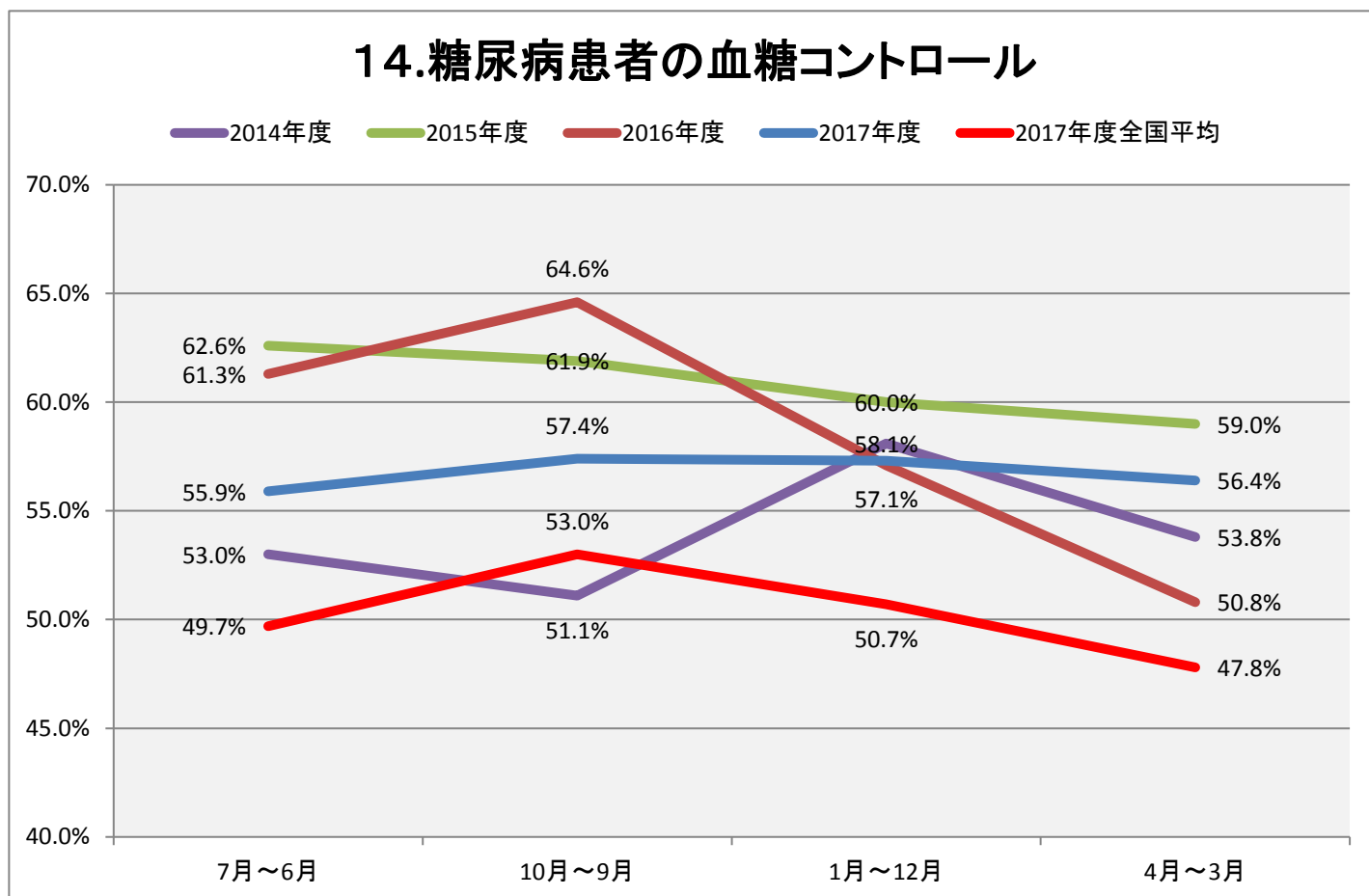


## 14.糖尿病患者の血糖コントロール

### (1) 調査結果



調査期間	7月～6月	10月～9月	1月～12月	4月～3月
2017年度	55.9%	57.4%	57.3%	56.4%
2016年度	61.3%	64.6%	57.1%	50.8%
2015年度	62.6%	61.9%	60.0%	59.0%
2014年度	53.0%	51.1%	58.1%	53.8%
2017年度全国平均	49.7%	53.0%	50.7%	47.8%

### (2) 指標の説明

HbA1cは、過去2～3ヶ月間の血糖値のコントロール状態を示す指標です。正常値は5.8%以下とされています。糖尿病患者の血糖コントロールは、HbA1cが6.6%未満であれば「良好」とされ、7.0%以下であれば「可」とされます。また、糖尿病による合併症頻度はHbA1cの改善度に比例しており、合併症の予防策の一つとして、HbA1cが6.6%未満に維持することが推奨されています。重度の糖尿病患者が多い場合に、コントロール率が低くなる場合があります。

### (3) 定義

分子: HbA1c(NGSP)の最終値が7.0%未満の外来患者数  
 分母: 糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数

### (4) 考察

コントロール率が60%前後となっており、当院では幅広い状態の患者さんに対し治療が行われていることが分かります。今後は患者さんと協力し、状態に合わせた治療を行い、良好にコントロールすることで、合併症を予防できるように努力を継続していきます。